

令和5年度 学校経営方針

【高等支援学校の使命】

出口の教育、最後の学校教育
社会への移行、卒業後の働く生活
自立的・主体的な生活、青年期の生活
現実度の高い学校生活

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
北海道の教育理念
「自立」「共生」

【基礎・基本の徹底】

あまりに多くのことを教えるなかれ。
しかし、教えるべきことは徹底的に教えるべし。
(ホワイトヘッド, 1861-1947, 英国)

教育理念	自己と社会をつなぎ、共生社会を創造する教育の追求
教育目標	共生社会の一員として、自ら社会に貢献する人間の育成
校訓	■知育【探究】 学び働き生きることを生涯にわたって探究する人間 ■徳育【協働】 多様性を尊重し、互いのよさを認め合い協働する人間 ■体育【健全】 生涯にわたって、健やかな心身と豊かな感性を磨く人間
12の教育信条	①人権尊重の教育 ②主権者の教育 ◆③個性重視の教育 ◆④多様性を尊重する教育 ★⑤生活中心の教育 ⑥学的根拠に基づく教育 ★⑦勤労・勤勉を導ぶ教育 ◆⑧協働する教育 ●⑨感動と共感、感性の教育 ●⑩心身を錬磨する教育 ⑪地域環境・人材を活用する教育 ⑫師弟同行の教育

★知的障害教育の本質（働く生活中心）：⑤⑦

◆「個別最適な学び」⇔③④／「協働的な学び」⇔⑧ ●令和5年度重点

【学校信条】 学びの共同体 【目指す学校像】 理想の学校 1 生徒にとって、安心と成長と希望のある学校 2 保護者にとって、信頼と成長と専門性のある学校 3 教職員にとって、成長（専門性）と協働と使命のある学校 4 地域にとって、信頼と協働と愛着のある学校	【生徒信条】 為すことによって学ぶ 【目指す生徒像】 育成を目指す資質・能力 探究 学び働き生きることを生涯にわたって探究する人間 協働 多様性を尊重し、互いのよさを認め合い協働する人間 健全 生涯にわたって、健やかな心身と豊かな感性を磨く人間	【教職員信条】 進みつつある教師のみ、人を教える権利あり 【目指す教職員像】 研鑽すべき資質・能力 探究 主体的に専門性を磨き、生徒の学び働き生きることを確かにする教職員 協働 多様性を尊重し、互いのよさを認め合い、全ての人々と協働する教職員 健全 公務員としての自覚と使命と情熱をもち、礼節を重んじる教職員
---	--	--

■「職員行動指針」参照

教育方針 1 多様な学びに応える合理的配慮とUD授業の実現 2 生涯学習を展望する、学校で完結しない教育活動の推進 ★教育課程検討委員会による教育課程の改善 3 キャリア発達の視点を踏まえた支援・指導の充実 4 指導・支援の個別化・個性化（個別最適な学び）と集団化（協働的な学び）の最適化 5 地域環境・人材の活用を図る教育の推進 6 指導の基本姿勢「ジェントル・ティーチング」	経営方針 1 経営資源である人・物・予算・情報・時間の有効活用 2 学校運営協議会（CS）の運営による、安心・安全な信頼される活力ある学校づくり 3 教職員の資質及び専門性の向上と法令遵守の徹底 4 道南地区における特別支援教育のセンター的機能の発揮 5 学校予算の効率的・効果的で適正な執行 6 学校における働き方改革の推進
---	--

令和4～5年度 教育・経営重点 【中期的（2年間）ビジョンを見通して】

1 単元・題材指導計画レベルを重視したカリキュラムマネジメントの確立 2 指導・支援におけるHKS（函館高等支援学校）スタンダードの充実 3 教職員の確かな専門性に基づき、協働意識を高めるチーム学校力の向上 4 ポストコロナ期における学びの機会や質の充実 5 開校5周年の教育実践と学校記録の整理	■凡事徹底「単元・題材指導計画重視」「重点教育活動整備」 ■重点事項の整理（学習指導／生徒指導／進路指導） ■研修内容・方法の工夫（含む、初任研）、研究紀要の年度発行 ■デジタル化の推進、生活に結びつく体験的な学習の充実 ■厳選化した開校5周年事業の実施
--	--

令和5年度 指導の重点 1 基本的生活習慣（睡眠、食事、運動）・行動様式と学習規律の習慣化 ★1学年重点（HKSスタートプログラムの作成） 2 自他のよさに気付き、自己の在り方・生き方を考える場面の意図的な設定 ★2学年より深化 3 主体的・対話的で深い学びの充実と個別最適化を図る授業改善 ★学び方を学ぶ／従来型教育とICT教育のハイブリット化 4 勤労観・職業観の育成と職業教育の充実 ★カフェの発展と模擬会社化の準備、現実度の高い作業学習 5 不登校生徒の受入体制と多様な教育機会及び学習場面の設定	令和5年度 経営の重点 1 ミドルリーダーを中心とした学校組織マネジメントによる各部間のスムーズな連携を図る効率的・効果的な業務の推進 2 保護者、地域、関係機関との連携推進と信頼関係の構築 ★PTA及び町会などと連携したボランティア活動などの活性化、外部講師の活用 3 公務員としての自覚と使命に基づく、法令遵守の徹底と危機管理意識の向上 4 適切な予算要望・計画・執行と財務処理の管理 ★「そのコストを削り出せ」
--	---

主題 「知的障害教育における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」

【令和3～5年度 3年目／3年次計画】

北海道函館高等支援学校 教職員行動指針

1 人権の尊重

私たちは、全ての人々に敬意をもって接し、互いの人権、人格、価値観を尊重します。

2 専門性の向上

私たちは、主体的に専門性を磨き、生徒の学び働き生きること確かになります。

3 個性並びに多様性の尊重と協働

私たちは、個性と多様性を尊重し、互いのよさを認め合い、全ての人々と協働します。

4 公務員としての使命

私たちは、公務員としての自覚と使命と情熱をもち、礼節を重んずると共に法令等や社会規範を遵守します。

5 社会貢献

私たちは、持続可能な社会を目指し、常に地域への貢献と連携を図ることにより、開かれた学校づくりを推進します。

1 教育理念

「自己と社会をつなぎ、共生社会を創造する教育の追求」

2 教育目標

「共生社会の一員として、自ら社会に貢献する人間の育成」

3 校訓

「探究」：学び働き生きること生涯にわたって探究する人間

「協働」：多様性を尊重し、互いのよさを認め合い協働する人間

「健全」：生涯にわたって健やかな心身と豊かな感性を磨く人間

4 校章・スクールカラー



北海道函館五稜郭支援学校と北海道函館稜北高等学校の両校の歴史や精神に敬意を込め、新たな学校として新しい歴史を地域と協働し積み重ねることを中央の五稜郭で表現している。また、五稜郭の中に示す三角形は、「探究」「協働」「健全」の校訓を表現し、翼は、教育目標である「共生社会の一員として、自ら社会貢献する人間」として社会に力強く、かつしなやかに羽ばたく願いを込めている。中央の校名を表す「H」は、人と人が手を取り

合い協働する社会を表しており、教育理念である「共生社会の創造」を追求することを象徴している。校章は、北海道函館稜北高等学校イラスト部と北海道高等聾学校専攻科情報デザイン科のコラボレーションにより作成した。（監修：函館デザイン協議会 岡田 暁 氏）

スクールカラーは、セルリアンブルーとする。本校所在地、石川町の高台より展望できる巴港の海の色と深いセルリアンブルーの青空。「知性」と「希望」を表すと言われるブルーと、知性と希望をもって大空へ羽ばたき、未来という大海原へ船出しようとする北海道函館稜北高等学校の理念を継承する。

5 生徒の状況

〔学科編成〕

学 科	1 年			2 年			3 年			合 計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
普通科	2	1	3	7	0	7	5	2	7	17名
生産技術科	6	2	8	8	0	8	6	2	8	24名
食品デザイン科	5	3	8	3	3	6	6	2	8	22名
福祉デザイン科	2	0	2	4	2	6	1	1	2	10名
計	1学年計		21	2学年計		27	3学年計		25	73名

〔出身校別生徒数〕

	中学校通常級	中学校特別支援学級			特別支援学校 (知的障害)	特別支援学校 (その他)	合計
		通級による指導	当該障がい 特別支援学級	他障がい 特別支援学級			
1 学年	0	0	10	11	0	0	21名
2 学年	1	0	9	16	1	0	27名
3 学年	1	0	10	13	1	0	25名
学年計	2	0	29	40	2	0	73名

〔出身中学校地域別生徒数〕

管内	渡島管内					檜山管内				その他	合計
	市町村	函館市	北斗市	七飯町	鹿部町	福島町	江差町	上ノ国町	奥尻町	黒松内町	
1 学年	15	2	1	0	1	1	1	0	0	1	21名
2 学年	17	5	1	2	0	0	1	1	0	0	27名
3 学年	15	2	4	1	0	0	0	1	1	0	25名
学年計	47	9	6	3	1	1	2	2	1	1	73名

6 卒業生の状況

〔卒業後の進路〕

		就職		福祉的就労				進学	未定	合計	就労率
		一般就労	継続A型	就労移行	継続B型	生活介護	自立訓練				
1 期 生	男子	11	1	2	2	0	0	2	1	19	就職率 64% 福祉的就労 35%
	女子	1	5	0	0	0	0	2	1	9	
	計	12	6	2	2	0	0	4	2	28	
2 期 生	男子	9	1	1	0	0	0	0	1	12	就職率 86% 福祉的就労 10%
	女子	6	2	0	1	0	0	0	0	9	
	計	15	3	1	1	0	0	0	1	21	

[一般就労の職種内訳]

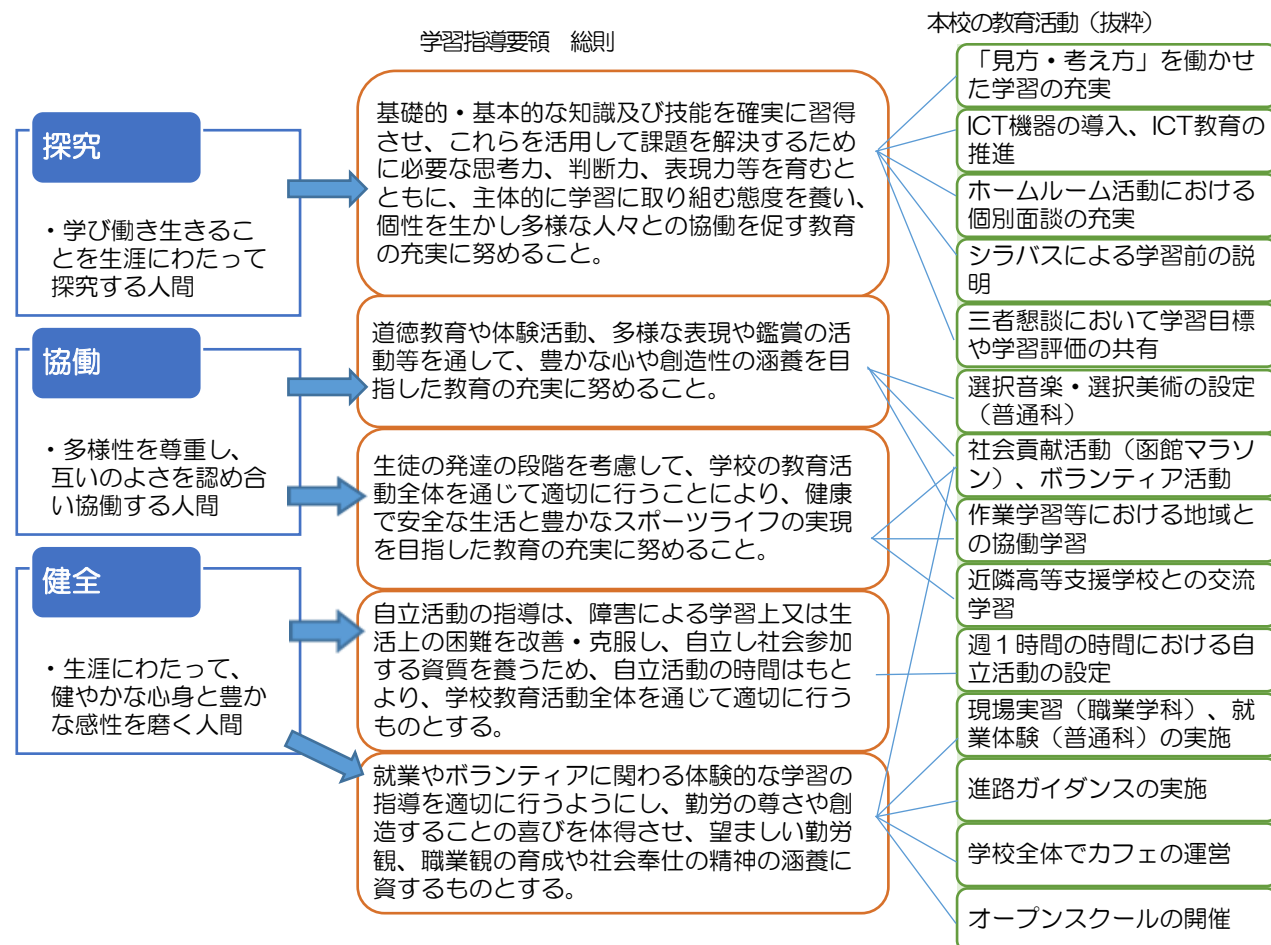
職 種	小 売 業	医 療 福 祉	流 通	製 造	運 輸 業	厨 房	宿 業・飲 食 サービス	そ の 他
1 期 生	3	2	1	3	0	2	0	1
2 期 生	2	4	0	2	1	0	5	1

7 年間予定

	行 事		行 事		行 事		行 事
4 月	1 学期着任式・始業式 入学式 対面式 PTA 総会 進路・卒後支援振興会総会 学年懇談会、保護者進路説明会	7 月	学校祭 1 学期終業式 家庭訪問 (1 年) 進路懇談 (2.3 年) 地域清掃 (2 年)	10 月	三者懇談 (1.2 年) 現場実習、就業体験 (1.2 年) はこだて花かいどう 撤去 地域清掃 (3 年)	1 月	3 学期始業式 生徒会役員選挙 入学者選考検査
5 月	保護者懇談 前期生徒総会 現場実習・就業体験 (2.3 年) 地域清掃 (1 年)	8 月	2 学期始業式	11 月	三者懇談 (3 年) 公開研究会 見学旅行 (2 年)	2 月	シーニック de ナイト 三者懇談 (3 年) 後期生徒総会
6 月	はこだて花かいどう 植栽 開校記念日 函館マラソン全校ボランティア	9 月	1 日防災学校 芸術鑑賞会 就業体験・現場実習 (3 年) オープンスクール	12 月	全体懇談会、学年懇談会 保護者進路説明会 進路懇談 (1.2 年) スポーツレク 2 学期終業式	3 月	3 年生を送る会 同窓会入会式 卒業証書授与式 三者懇談 (1.2 年) 3 学期終業式、離任式 新入生ガイダンス

8 教育課程

目指す生徒を育成するために、本校は学習指導要領に基づき、主体的・対話的で深い学びの実現を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開し、生徒の豊かな生きる力を育みます。



【基本週授業時数】

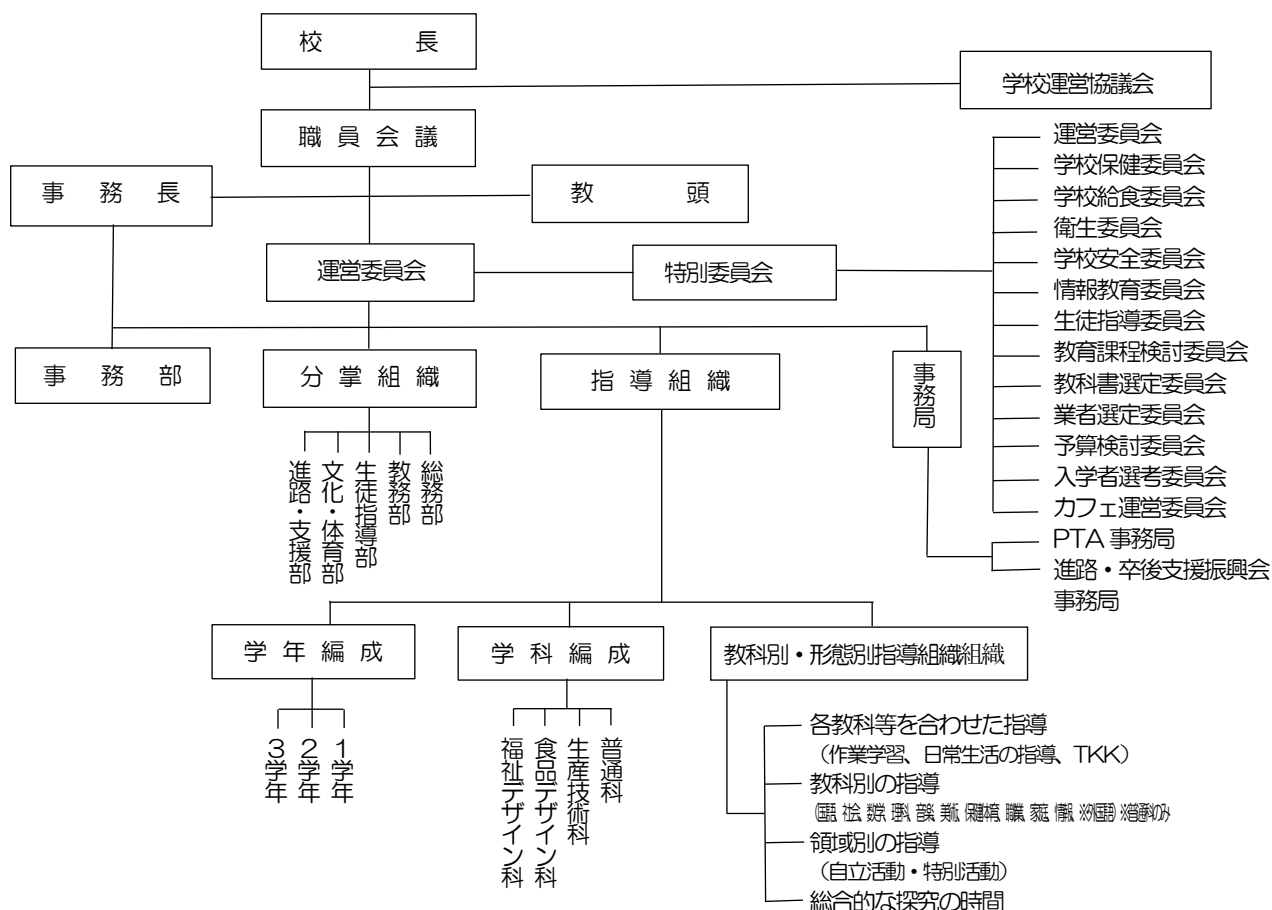
【2 学年基本週時程】

		月		火		水		木		金		
		普通科	職業学科	普通科	職業学科	普通科	職業学科	普通科	職業学科	普通科	職業学科	
SHR	8:30～8:40	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR	
清掃	8:40～8:50	清掃		清掃		清掃		清掃		清掃		
1	8:55～9:45	LHR		音楽		数学	作業学習	職業	社会	自立活動		
2	9:50～10:40	外国語	数学	国語	総合的な探究 の時間	体育			国語	数学	情報	作業学習
3	10:50～11:40	社会	国	情				情	職業	作業学習		
4	11:45～12:35	家庭	情	国				国				
給食	12:35～13:25	給食										
5	13:25～14:15	美術		保健		理科	作業 学習	情報	職業	選択	家庭	
6	14:20～15:10			体育		社会		家庭	数学	TKK/生徒会活動		
SHR	15:15～15:25	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR	

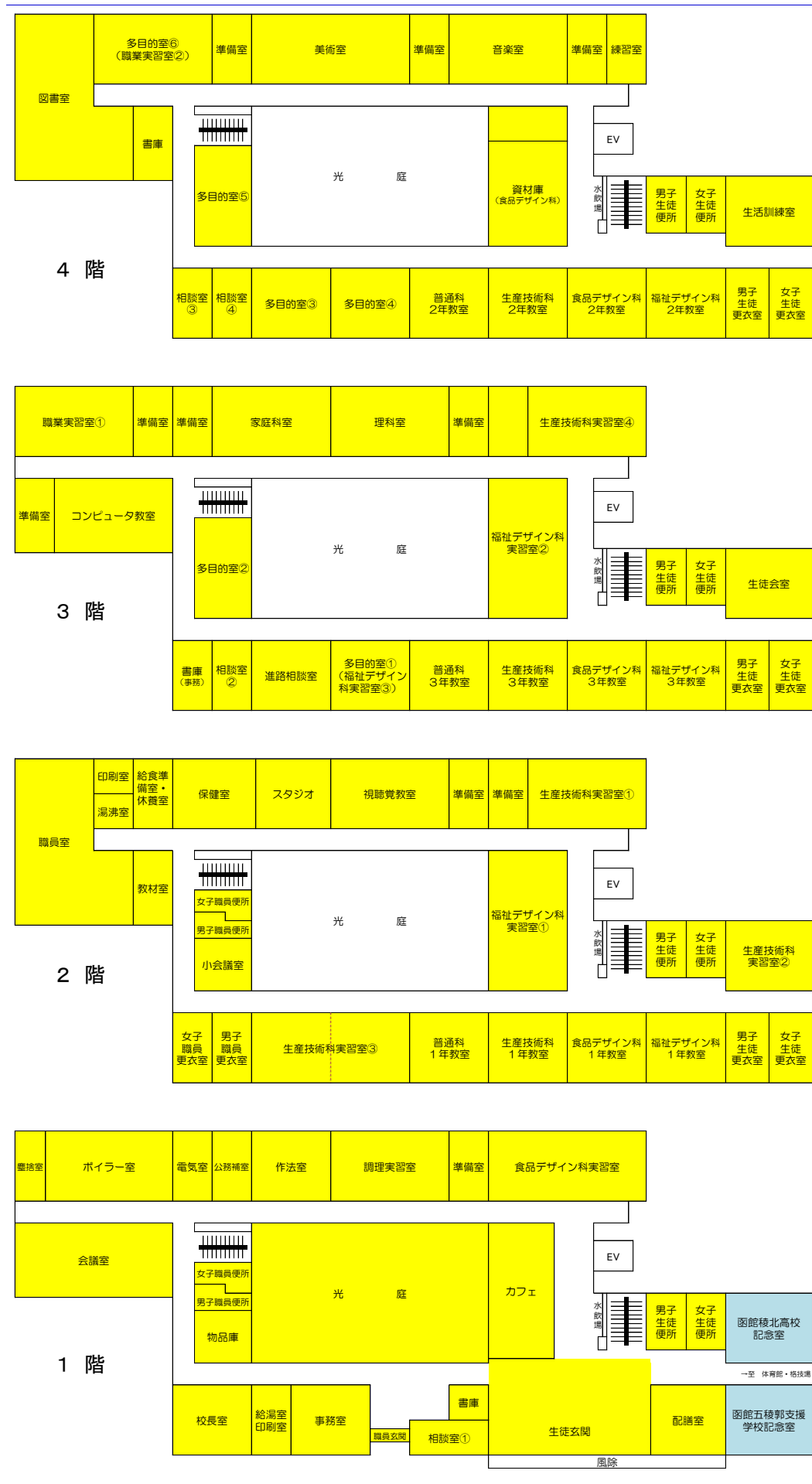
【3 学年基本週時程】

		月		火		水		木		金			
		普通科	職業学科	普通科	職業学科	普通科	職業学科	普通科	職業学科	普通科	職業学科		
SHR	8:30～8:40	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR		
清掃	8:40～8:50	清掃		清掃		清掃		清掃		清掃			
1	8:55～9:45	LHR		国語	作業学習	社会	数学	職業	作業学習	美術			
2	9:50～10:40	自立活動		総合的な探究の時間		音楽				保健体育			
3	10:50～11:40	外国語	作業学習			保健体育				職業	作業学習	職業	数学
4	11:45～12:35	社会											家庭
給食	12:35～13:25	給食											
5	13:25～14:15	国語	作業学習	情報	作業学習	家庭	国語	家庭	職業	選択	社会		
6	14:20～15:10	情報		数学		理科	情報	数学	国語	TKK/生徒会活動			
SHR	15:15～15:25	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR		

9 学校運営組織図



[校舎]



第20回ふるさと写真コンクール入賞作品



金賞「冬景色」 生産技術科2年生徒



佳作「亀田八幡宮・稲荷御堂にて」
生産技術科3年生徒

教育相談

特別支援学校においては、入学を希望する生徒や保護者、学級担任に対して事前の教育相談を行い、教育内容や学校生活の状況について説明するなど、適切な進路選択のための取組を行っています。

お申し込みは、在籍する学校を通してお申し込みください。

Tel/Fax 0138-34-2110

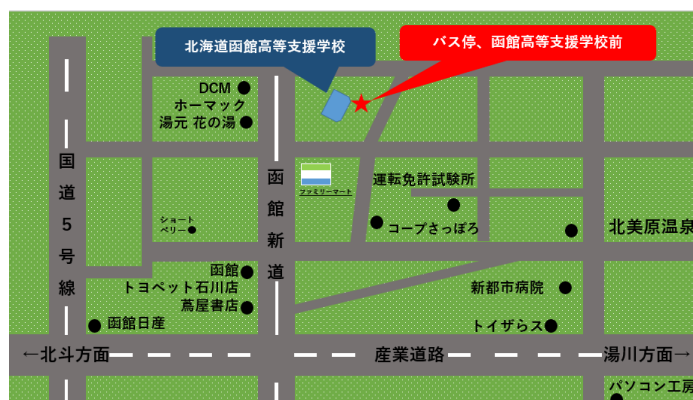
北海道函館高等支援学校

〒041-0802

北海道函館市石川町 181 番地8

Tel/Fax 0138-34-2110

E-mail: hakodatekoushi-zO@hokkaido-c.ed.jp



地図製作：普通科 情報